

## 令和4年度 第1回 かながわ健康プラン21目標評価部会

日 時：令和4年8月26日（金）10時00～11時00分

場 所：WEB会議（Zoom）

### 1 開会・あいさつ

榎健康増進課長よりあいさつ

### 2 議事

（立道部会長）

皆様におかれましてはコロナの拡大時期に入り非常に難しい日々を送られているかと思いますが、このコロナに関連し生活習慣についても問題視されています。本日の目標評価部会等々を通じまして、県民の健康増進にもっていきたいと思いますので、ぜひともご協力の程よろしく申し上げます。

#### 議題 かながわ健康プラン21（第2次）の最終評価について

<事務局より資料1、資料2、資料3-1、資料3-2、資料4について説明>

（立道部会長）

まずは全体像からでも結構ですので、ご質問等がありましたら宜しく申し上げます。それでは、今後の進め方についてのご意見を伺います。各委員の方々からご発言をお願いしたいので、ご指名させていただきます。

結核予防会の佐野委員、ご意見やご質問等いかがですか。

（佐野委員）

ワーキングの方にも出席している関係で、なかなか良い結果が出てきていないということを伺っています。評価部会として単純に数値的な作業で評価するのは容易いですが、今後の課題を検討する段階でその辺が難しいと懸念します。

（立道部会長）

県立保健福祉大学の津野委員からご意見賜りたく、申し上げます。

（津野委員）

ざっと見た限りで、報告があったとおり改善されている項目が少ないので、これを次回の計画にどの程度活かすのかというのが肝になるのではないかと思います。目標数値がパーセントと実人数のものが 있습니다。実人数だと人口の動態にかなり左右されるのではと思いましたが、パーセントで統一するのか、そもそも目標数値をどうするのが今後の議論の焦点になるのではと思います。

(立道部会長)

国立保健医療科学院の横山委員、ご発言をお願いします。

(横山委員)

全体目標の健康格差の縮小がDで悪化ということですが、これは5つの地域政策圏単位の最長と最短の差を見てということですが、2番目はどうなっているのかが気になります。最長最短の比較だけですと、端が動くとも全体の評価がDになり得るので、他の地域政策圏も見て、全体としてどうなのかということを知りたいと思いました。国の場合は女性が悪化したということになってはいますが、上から2番目と下から2番目で比較すると少し縮小しているという現象もあります。指標としては最長最短の差を見るという定義にはなっていますが、他のところも見ておいた方が良いでしょうと思います。

それから、国の評価ですと年齢調整が可能なものは年齢調整した値をここの数字の下に括弧をして記しておいて、検定だけは年齢調整したものでやるという変則的なことを行っています。要は年齢調整して比較するかどうかを当初しっかりと決めていなかった指標はこのようになっているのですが、次期計画では年齢調整をするかどうかをしっかりと決めておこうという議論になっています。ですから、今回の県の最終評価もどうするのかをご検討いただければと思います。

あと、もう1点、糖尿病有病者数増加の抑制の速報はDですが、考え方としては目標策定時が21万人で、それまでのペースで増えると何万人に増えるので、それを22万人に抑えようということになっていたのだと思います。この予想された値に比べて26万人が高めなのか低めなのかかわかれば、そういったことも分析にいられた方が良いでしょうと思いました。

(立道部会長)

今のご指摘の点について事務局で答えられることはありますか。健康格差のところでも最長最短だけでなく他での差ということ、年齢調整で比較するということ、糖尿病有病者数21万人が26万人になったことが多いのか少ないのかなど、先程のご指摘について現時点で答えられることはありますか。

(事務局)

ご意見ありがとうございます。現時点では詳細に分析しきれていないところがあるため、お答えできないことが多く申し訳ないのですが、横山委員からご指摘いただきましたことについては、そのような視点をいれて分析の際にお示ししていければと思います。また、健康格差については、最長・最短差だけではなく2、3番目も見て、どのような推移をしたかということも含めて分析をしてコメントできるようにしたいと思います。年齢調整については検討しまして、出し方についてはご相談させていただきたいと考えています。

津野委員から目標値が人数やパーセントが混在している点や、次回に向けてどうするのが課題とのご指摘をいただきました。プランの目標値については国の

健康日本21に沿えるものについては揃えています。神奈川県独自の指標、例えば「未病センターの利用者数」などは独自指標で、目標値が人数であったりということで、おっしゃるとおりバラついていて評価しにくいとは思いますが、ただ、全国との比較もしていくことを考えますと、健康日本21がどのようになるのかを見据えながら、独自指標についてはできるだけ揃えられるものは揃えていく形で今後検討していきたいと考えています。

(立道部会長)

先程ご指摘のあったパーセントと人数の混在で比較しにくいというとは、確かにそのとおりだと思いますので、両方併記することはできないのですか。目標値は現在の人数のまま、参考値としてパーセントを表記するといったことは可能ですか。

(事務局)

参考値を出せるようなものについては検討させていただきます。次の計画にあたっては国の様子もみながら検討したいと思います。

(立道部会長)

他にご意見ありますか。これまで目標値の進捗一覧について議論をしていただきました。今回は最終評価についての全体像をご説明していただきましたが、2回目、3回目の部会で具体的な評価分析を行うとのことですが、10月、11月はどこからどこまでの評価を行うかなどを具体的に教えていただけますか。

(事務局)

評価をする項目は全体目標と社会的目標の11項目になります。指標の数が生活習慣病については12指標と多いですが、この中には、がん、糖尿病、COPD、検診等5分野に分かれておりますので、トータルすると11分野で16シートになります。16シートをどのような順で第2回、第3回目標評価部会でお示しするかですが、先にデータがそろっているものからお示しして議論いただくことになるのだろうと思います。

(立道部会長)

作業の状況にあわせて2回目、3回目の部会での評価項目が決まるということですか。

(事務局)

そのとおりです。

(立道部会長)

資料が直前に出されるようですとなかなか読み込めないで、次回はどの程度

前の段階で資料を見せていただけますか。もちろん日程調整との兼ね合いもあるかとは思いますが。

(事務局)

第2回部会は評価していただく内容が非常に分厚くなる予定ですので、資料を読み込んでいただける期間を設けて、少なくとも1週間前までにはお送りしたいと思います。

(立道部会長)

今のお話を要約すると、目標値ができたものから順に10月に評価し、残りを11月に評価するスケジュール感、1週間前までには大体の値を見せていただくということですね。そして具体的な目標評価部会を10月、11月に設定するというスケジュールで進めていくという内容ですね。このことでご質問、ご意見はありますか。10月、11月というのは間が1カ月しかないですが、かなりタイトなスケジュールだと思いますが大丈夫ですか。

(事務局)

おっしゃるとおり日程的にはかなりタイトですが、最終的に年度内にまとめるということを考えますと、年内に評価分析についてある程度まで進めなければいけないため、同時並行で、お示ししているようなスケジュールで今後進めていきたいと考えています。今回は直前の資料送付となり大変申し訳ございませんでしたが、次回以降は1週間程度前にお送りできるようにしますので、よろしく願いします。

(立道部会長)

今のスケジュールや項目について何かご意見、ご質問等ありますか。

(津野委員)

報告書の中にこれまで行ってきた取組が含まれると思いますが、事務局のご説明からすると、目標項目ごとに関連する取組が書かれると理解しています。ここで特に目標達成できなかった項目については不十分であったという点から、どのような取組を行ったかを詳細に記載する必要があるかと思っています。例えば、キャンペーンをしたのであれば、どこまでそれがリーチできたのかわかる範囲で書く必要がありますし、ワークショップをやったのであれば、開催回数であるとか、それらの詳細を書いて頂きたいと思います。その際に関連する取組において、それがポピュレーションアプローチまたはハイリスクアプローチだったのか項目を分けて記述いただけると、どこの対象をターゲットにしてリーチし得たかを評価できるのではないかと思います。

(立道部会長)

今の件につきまして、事務局いかがですか。

(事務局)

津野委員ありがとうございます。おっしゃるとおり目標達成できなかった指標について、どのように分析して今後の取組に活かしていくかきをちゃんと整理することが最終評価だと考えています。また、取組が妥当だったのか、ハイリスクアプローチ、ポピュレーションアプローチの整理については、事務局内で検討している中でも課題としていることで、ご指摘のとおり、次回に向けてできるだけそういったことを取り込んで分析シートを出していければと思います。

(立道部会長)

公衆衛生学的なところでいう4つの評価、ストラクチャー、アウトプット、プロセス 指標などの内容をしっかり記述していただきたい。また、誰にリーチしたのかという記述もしっかり書いてほしいということですね。他に何かご意見ありますか。

(佐野委員)

津野委員がおっしゃっていたように、比較的資料は多いのですが、ただ事業が羅列されただけの資料が送られてきても、読み込みむまでに1週間ではとても短いです。資料をある程度読み込んでもう一度基準点を決めていかなければならないということがありますので、先程の事項はマストと思っていただきたいです。まっさらな数字が並んでいる状態から委員がすべてを評価するのではなく、県としてはこのような報告書に対してこういったことを優先的に評価して欲しい、というような県からの意見などのある程度の情報が記述されている資料が欲しいです。語句の定義にしても神奈川県はこういった理解で良いのだろうかと考えなければならぬこともありますので、迷いのないような情報提供をして頂けることを希望します。

(立道部会長)

貴重なご意見ありがとうございます。事務局お願いします。

(事務局)

佐野委員ありがとうございます。次回以降は資料のボリュームが膨大になると思います。ご意見いただきたい点やご説明の仕方など、委員の皆様にご意見をいただきやすいような形にきちんと整理して進めていければと思います。

(立道部会長)

他にいかがですか。これまでのご指摘内容をふまえながら委員が評価する上での報告書の記述、分析等々、あと1カ月しかないなか大変ですが是非よろしくお願いします。コロナの影響でどう変わったのかも今後の課題として記述されると

ということです。そうなると分析の方もかなり難しいかとは思いますが、非常に重要な点だと思いますのでよろしくお願いします。その他ご質問、ご意見はありますか。横山委員から最後にご発言をお願いします。

(横山委員)

沢山の指標や数字がありますが、ぜひ報告書の中で「見える化」をお願いします。国の報告書ではできる限りわかりやすい図を心がけていますので、全体図がわかるような「見える化」した図を含めていただくと助かります。短い時間で読むのにも役立ちますので、ぜひ「見える化・魅せる化」をお願いします。それから、コロナと言われて気づきましたが、評価年については令和4年を目標年としていて、国の評価はコロナの影響が令和2年度に出てくるので、国の最終評価は令和元年の値を使っています。県は令和2年度、或いは3年度の値も含めて行うということで良いのかご確認をお願いします。

(立道部会長)

事務局いかがですか。

(事務局)

横山委員ありがとうございます。「見える化・魅せる化」についてはできるかぎり分かりやすい形にしたいと思っています。また、指標の時点についてですが、県の場合は最新値を使って評価するつもりです。毎年調査をしていないものもあるため、結果として令和元年の値になってしまう指標もありますが、基本的には最新値で評価をし、コロナの影響のあるものについてはそれを付記することを考えています。最終的にそれで支障があるようであれば、修正する可能性もありますが、現時点では最新値でと考えています。

(立道部会長)

佐野委員、ワーキングの方から何かご発言はありますか。

(佐野委員)

まだ皆さん日程を見ながら作業を頑張っている最中ですので、現時点では手元に皆様にご報告できるような情報が揃っていません。

(立道部会長)

最後に、佐野委員の方からご発言はありますか。

(佐野委員)

先ほど申しあげましたように、県の方からもここを見て欲しいというような意見を記述しておいて欲しいということを重ねて申しあげます。

(立道部会長)

津野委員、最後にご発言はありますか。

(津野委員)

報告書をととても楽しみにしています。特にどういった取組をしたのかを書いておいて欲しいと先ほど申し上げましたが、今回目標達成できなかった「20歳代やせ」というのがあります。私は「20歳代やせ」を対象とした取組が何もされていなかったのではないかという疑惑を少し持っていますので、実際にどういった取組をしたのかという検証を楽しみにしています。

(立道部会長)

横山委員、最後に何かありますか。

(横山委員)

膨大なデータの加工で大変かと思いますが、ぜひわかりやすい形で頑張ってもらいたいと思います。

(立道部会長)

本日はキックオフという形ですが、今後本格的には第2回、第3回目の部会で委員方には大変なご苦勞をおかけするかと思いますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。

それでは、本日の審議事項は以上ですので事務局にお返しします。

### 3 閉会

(事務局)

立道部会長、ありがとうございました。委員の皆様も本日はどうもありがとうございました。現時点では、今後の方向性をお示しするのみでしたが、今後の参考になるご意見を様々にいただきましてありがとうございました。次回以降、皆様からご意見をいただきやすいような形で進められるように努めてまいりたいと思います。これで第1回目標評価部会を終了します。